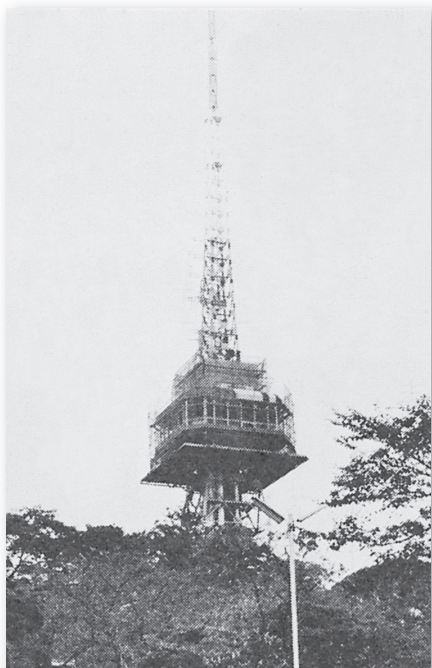


（中から、昭和25年4月1日に発刊された「広報うつのみや」の「中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。」）



（一口メモ）愛称の決定は、広報うつのみや（昭和55年11月20日号）に掲載されています。応募が551件、うち名称がついていたのは228件、主なものは▽宇都宮タワー 63件▽宮・みや・ミヤタワー 62件▽柵の葉タワー 53件▽八幡タワー 41件などで、親しみやすさ、わかりやすさを考え「宇都宮タワー」に決定しました。なお、宇都宮タワーは、平成17年12月から地上波デジタル放送を送信しています。

昭和の記憶

～あんとキの記事から～



八幡山公園

「展望台付きテレビ塔」愛称募集

（広報うつのみや昭和55年10月1日号）

八幡山公園内に建設中の展望台付テレビ中継塔は、間もなく放送を開始し、VHF電波をUHF電波に変えてお届けします。

また、11月15日には展望台も完成する予定です。

そこで市は、市民から親しまれ宇都宮の新名所にふさわしいテレビ中継塔の愛称（名前）を募集します。

（中略）

なお、中継塔は、高さ89メートル、市内のどの建物、どの塔よりも高く、また、展望台は高さ30メートルのところにつくられ、晴れた日には、市内全域が一望できます。

現在の宇都宮タワーの利用案内

- 営業時間 午前9時～午後4時30分
- 休園日 月曜日、休日（祝祭日）の翌日、年末年始
- 費用▽大人 個人=190円、団体（30人以上）=100円
▽高校生以下 無料（市内に在住か、通学している人）▽望遠鏡 無料。

暮らしと交通のいい関係

L R T

昨年度から実施しているオープンハウスなどにおいて、市民の皆さんから寄せられたLRTの疑問・質問についてお答えします。

質問 LRTを利用する人が少なく赤字になるのではないかと
答え A 平成25年度に実施した調査により、確実に見込まれる最低限の利用者数を把握したところ、利用者数の確保の見通しは高まっています。

■利用者数

LRTの採算性は、「利用者数」と「運営手法」がポイントになります。今回は「利用者数」について紹介します。

LRTの利用者数は、平成13・14年度に実施した「新交通システム導入基本計画策定調査」結果から、東西15キロメートルの計画区間全体について、1日当たり往復44,900人と推計しています。また、優先整備していく12キロメートル区間（JR宇都宮駅東口～宇都宮テクノポリスセンター地区）の利用者数について、平成21年度の調査において、1日当たり往復13,740人と推計しています。

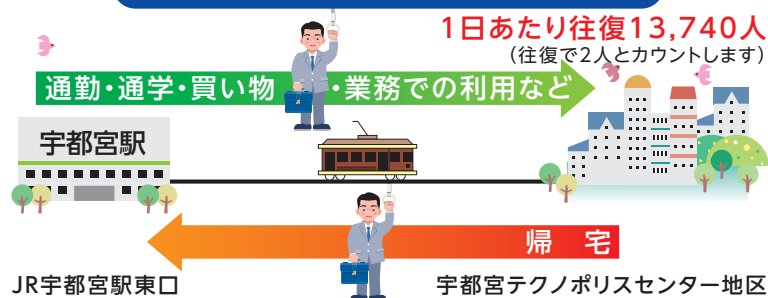
■利用者数の精査

LRTの事業化に向け、精度の高い利用者数を把握するため、市では段階的な精査に取り組んでいます。平成25年度には、清原工業団地の企業や近隣の学校などへのヒアリング調査、JR宇都宮駅から清原・芳賀方面に向かう通勤バスの運行状況調査などを実施し、JR宇都宮駅東口から清原・芳賀方面への通勤・通学者などのうち、確実に見込まれる最低限の利用者数について、1日当たり往復9,089人と推計しています。これにより利用者数の確保の見通しが高まったものと考えており、さらに、今後、「沿線地域従業者アンケート調査」や、県内7市7町を対象とした「県央広域都市圏生活行動実態調査」を行い、より詳細な利用者数の把握に努めていきます。

次回は、LRTの「運営手法」について紹介します。

☎LRT整備推進室 ☎(632)2304

優先整備区間の利用者数の見込み



◎毎月1日はもったいないの日 日々の行動を振り返ろう 市では、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、ひとやものを大切にする「もったいない運動」を進めています。日々、実践している行動をさらなる行動・実践につなげるために、月の初めに先月までの行動を振り返りましょう。☎環境政策課 ☎(632)2409

